

県議会議員

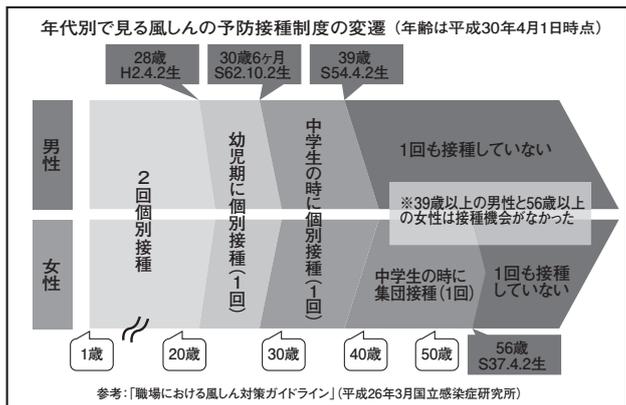
# あらい、絹世の磯っ子レポート

県政をもっと身近に



<http://www.araikinuyo.jp>

## 患者の多数占める中年男性の無料抗体検査 風疹撲滅作戦展開中の神奈川県が後押しへ



自然災害と並び人々の安全、健康な生活を脅かすものにウイルスや細菌による感染症があります。日本ではインフルエンザとともに感染力が強い風疹（ふうしん＝三日ばしか）が、今年も大流行する兆しをみせています。風疹は医療機関での治療が必要ですが、妊娠初期の女性が感染するとお腹の赤ちゃんに難聴や心疾患など先天性の病気を引き起こす危険もある恐ろしい病です。神奈川県では2013年の大流行を受け翌年度から「撲滅作戦」を展開していますが、昨年12月には「非常事態宣言」も発しました。風疹はワクチン

の予防接種を受け抗体（免疫）を持つことで防げますが、定期接種の制度がなかったため抗体が低い30代～50代の男性が患者の3分の2程度を占めています。

風疹の予防には2度にわたり予防接種することが有効ですが、妊娠を希望する女性には既に無料で抗体検査を受けられる制度があり、男女とも大人の風疹予防接種については県内の33市町村で費用の助成制度（半分程度が多い）を行っています。一方で39歳以上の男性と56歳以上の女性では定期予防接種の機会がなかった事情から、患者の多数をこの年代の男性が占めている状況にあります。そこで国では2019年度から40歳から56歳までの男性の無料抗体検査制度を導入する方針です。これに合わせ県では31～39歳と57～60歳も対象とする（妊婦・妊娠希望者のパートナー男性は既に対象）する計画で、2019年度当初一般会計予算案に風疹撲滅に向けた取り組みとして1億3508万円（市町村の予防接種事業の補助も含む）を計上しています。新たな無料検査の利用者は数百人程度と見込んでいます。



### コレが言いたい!

風疹は、毎年春以降に増加する傾向がみられます。日本ではさらに2020年の東京オリンピック・パラリンピックなど海内外から大勢の人が訪れる際に感染が拡大することも心配されます。風疹の流行を防ぐためには、定期予防接種制度のなかった30～50代の働き盛り世代をはじめ多くの方に免疫を持って貰う必要があります。2019年2月現在、108社の法人や団体の皆様に従業員やその家族の健康を守るため積極的な風疹対策をお願いしています。



一般会計1兆8,299億円を含む4兆155億円の平成31年度当初予算案が3月15日に採決されます。平成31年度は4月に知事選挙が行われることから当初予算案は介護医療等の義務的経費や県民生活に配慮すべき施策などの事業等骨格予算が計上されています。

# 磯子 あれ? これ?



## 磯子区の文化財 「東漸寺釈迦堂」

東漸寺の境内にある「釈迦堂」は、正安3(1301)年、北条宗長(北条時政から5代目)が、永仁年間に度重なる火災の際、円覚寺の再建で活躍した桃溪徳悟(宏覚禅師)の業績を称え大檀那(お布施)として仏殿(釈迦堂)を建てたものです。3間四方の建物の各階屋根下に裳階もこしと呼ばれる庇ひさしのようなものを施した禅宗様式仏殿の典型的なもので、日本最古の部類に数えられます。

昭和46(1972)年9月に県の重要文化財の指定を受けました。また、昭和48～57(1973～82)年にかけて柱8本(再建当時の物)を残し解体、復元修理がおこなわれました。

尚、釈迦堂の中の仏殿に安置されている鑄物師、物部国光によって造られた初代の梵鐘(国の重要文化財)があり、毎年4月8日、お釈迦様の誕生日(花まつり)に公開されています。

参考:横浜の指定・登録文化財、寺院関係者のほなし



### 活動報告

●洋光台梅の里まつり



●盲ろう者ゆりの会による音響式信号機補助装置の体験会



●一年間一緒に政策提言を行った政務調査会のメンバー



### あらい絹世プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生

- 平成27年4月 県議会議員2期目当選
- 産業労働常任委員会委員
- ともに生きる社会推進特別委員会委員長
- 美しい環境づくり推進協議会委員
- 政務調査会副会長

